

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 23 号

第 23 週 (6月4日～6月10日)

発行年月日:平成19年(2007年) 6月15日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

滋賀県における麻しんの発生状況 腸管出血性大腸菌感染症に注意!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第22週(5月28日～6月3日)の報告数よりやや多くなっています。インフルエンザ、咽頭結膜熱(プール熱)、水痘および突発性麻疹は先週より減少していますが、他の疾患についてはほとんどが増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

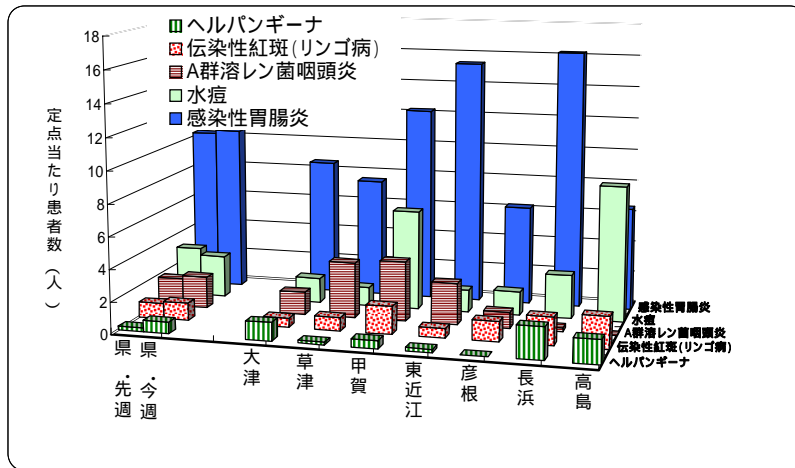
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、

警報-----咽頭結膜熱で大津に、感染性胃腸炎で長浜に、水痘が高島に、伝染性紅斑(リンゴ病)で甲賀および高島に発生しています。

注意報---水痘で甲賀に発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症 1名および四類感染症のレジオネラ症 1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第23週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)ヘルパンギーナの順に多くなっています。感染性胃腸炎の発生は甲賀、東近江および長浜で多くっており、水痘は高島で急増しています。

腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26等)の予防について

滋賀県における発生状況は平成19年第23週現在9名の届出があり、昨年の同時期(届出者数6名)よりやや多くなっています。性別では男性2名、女性7名で、保健所管内別では草津3名、東近江3名、大津1名、甲賀1名、および彦根1名となっています。また、年齢別では0～9歳1名、10～19歳2名、20～29歳3名、40～49歳1名50～59歳1名および60～69歳1名となっています。

<発生予防に対する注意>

- 1. 十分な手洗いをする** 調理時、食事の前、排便後などにはせっけんを使い流水で十分に手を洗う。
- 2. 調理時の注意**
 - 1) 食材などは、流水で十分に洗う。
 - 2) 加熱調理時は、食品の中心温度が75℃、1分以上となるよう十分に加熱する。
 - 3) まな板、包丁などの調理器具は、漂白剤や熱湯で消毒し清潔にしておく。
- 3. 飲食時の注意**
 - 1) 特に、生レバーや、ユッケ等の生肉や加熱不十分な食肉を食べないようにする。
 - 2) 調理した食品は、なるべく早く食べる。
- 4. 家族内の2次感染を防ぐ**

家族内に下痢などの症状を示す人がいる時は、

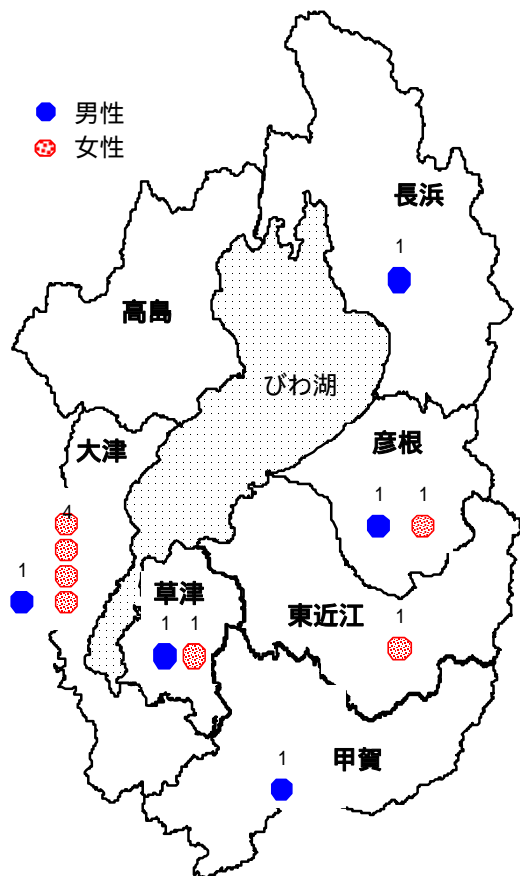
 - 1) 便を処理した後の手洗いを十分にし、消毒する。
 - 2) 入浴時の混浴を避ける。
 - 3) トイレや入浴時のタオルの共用を避ける。

滋賀県における麻しんの発生状況

麻しんの流行が全国的に拡大しているため、滋賀県では県内における麻しんの流行を早期に把握することを目的とし全数調査^(*)を平成19年5月23日から実施しています。全数調査に基づき、医療機関から報告された麻しんの発生状況は下記のとおりです。

(*)：滋賀県内の全ての医療機関を対象に実施している調査

1)保健所管内別・性別発生状況(平成19年6月14日現在)



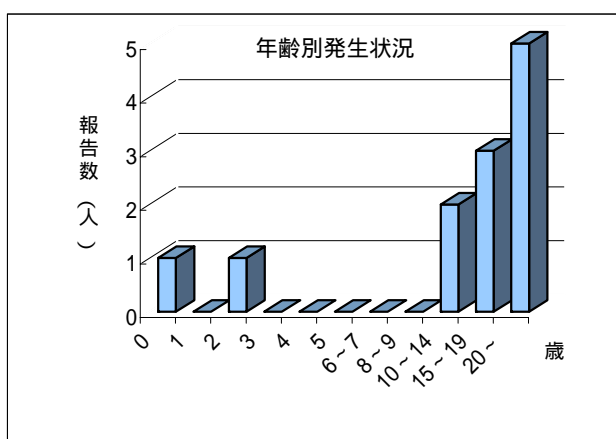
保健所	性別	報告数(人)	
		全数調査 ^{*1}	定点把握調査(再掲) ^{*2}
大津	男性	1	
	女性	4	(2)
草津	男性	1	
	女性	1	(1)
甲賀	男性	1	(1)
	女性		
東近江	男性		
	女性	1	(1)
彦根	男性	1	
	女性	1	
長浜	男性	1	
	女性		
高島	男性		
	女性		
計		12	(5)

表中の空白は報告数0人

*1: 調査開始(平成19年5月23日)以前にさかのぼり報告のあった事例を含む。また、定点把握調査による報告数を含む。

*2: 感染症発生動向調査事業に基づき指定されている32の定点(小児科)からの報告。

2)年齢別発生状況(平成19年6月14日現在)



年齢	報告数(人)	
	全数調査	定点把握調査(再掲) ^{*2}
0	1	(1)
1	0	
2	1	(1)
3	0	
4	0	
5	0	
6~7	0	
8~9	0	
10~14	2	(1)
15~19	3	(1)
20~	5	(1)
計	12	(5)

参考

感染症発生動向調査事業に基づく定点把握調査^(*)における発生状況(平成13年~平成18年)

年	H13	H14	H15	H16	H17	H18
患者報告数(人)	169	94	20	10	10	10

(*)：滋賀県内で指定された32の医療機関(小児科定点)を対象に実施している調査

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (23週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (23週)	全国 (23週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	47	3,112	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	8	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	218	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	687	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	26	2	70
	A型肝炎	0	0	80	21	316
	デング熱	0	1	23	0	57
	レジオネラ症	1	2	181	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	317	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	80	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	47	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	45	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	5	581	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	19	1	87
	梅毒	0	0	242	4	625
	破傷風	0	0	32	1	115
	急性脳炎	0	1	107	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第23週(6/4～6/10) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: オウム病	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	17例	
二類感染症: 結核	193例	つつが虫病	3例	クリプトスポリジウム症	1例
三類感染症: 細菌性赤痢	20例	日本紅斑熱	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
腸管出血性大腸菌感染症	154例	レジオネラ症	12例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
四類感染症: A型肝炎	2例	五類感染症: アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例
デング熱	1例	梅毒	6例	急性脳炎	3例
		破傷風	1例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第18～23週、4/30～6/10)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	18週	19週	20週	21週	22週	23週	週				
	(4/30～)	(5/7～)	(5/14～)	(5/21～)	(5/28～)	(6/4～)	19	20	21	22	23
インフルエンザ	2.00	0.96	0.40	0.25	0.06	0.02					
RSウイルス感染症	0	0	0	0.03	0	0.03					
咽頭結膜熱	0.06	0.41	0.47	0.47	0.78	0.63					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	1.16	1.38	1.97	1.78	2.00					
感染性胃腸炎	6.74	8.50	9.44	10.22	10.22	10.44					
水痘	2.39	3.13	2.06	2.06	3.06	2.63					
手足口病	0	0.16	0.16	0.31	0.16	0.22					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.45	1.13	0.97	1.38	0.97	1.09					
突発性発しん	0.35	0.38	0.59	0.66	0.66	0.47					
百日咳	0	0	0	0.03	0.06	0.06					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0.03	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.03	0.09	0.03	0.34	0.25	0.72					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0.03	0	0	0.03					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.34	0.63	0.69	0.47	0.50					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.71	1.00	1.14	0.71	0.29	0.57					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0.14	0	0	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

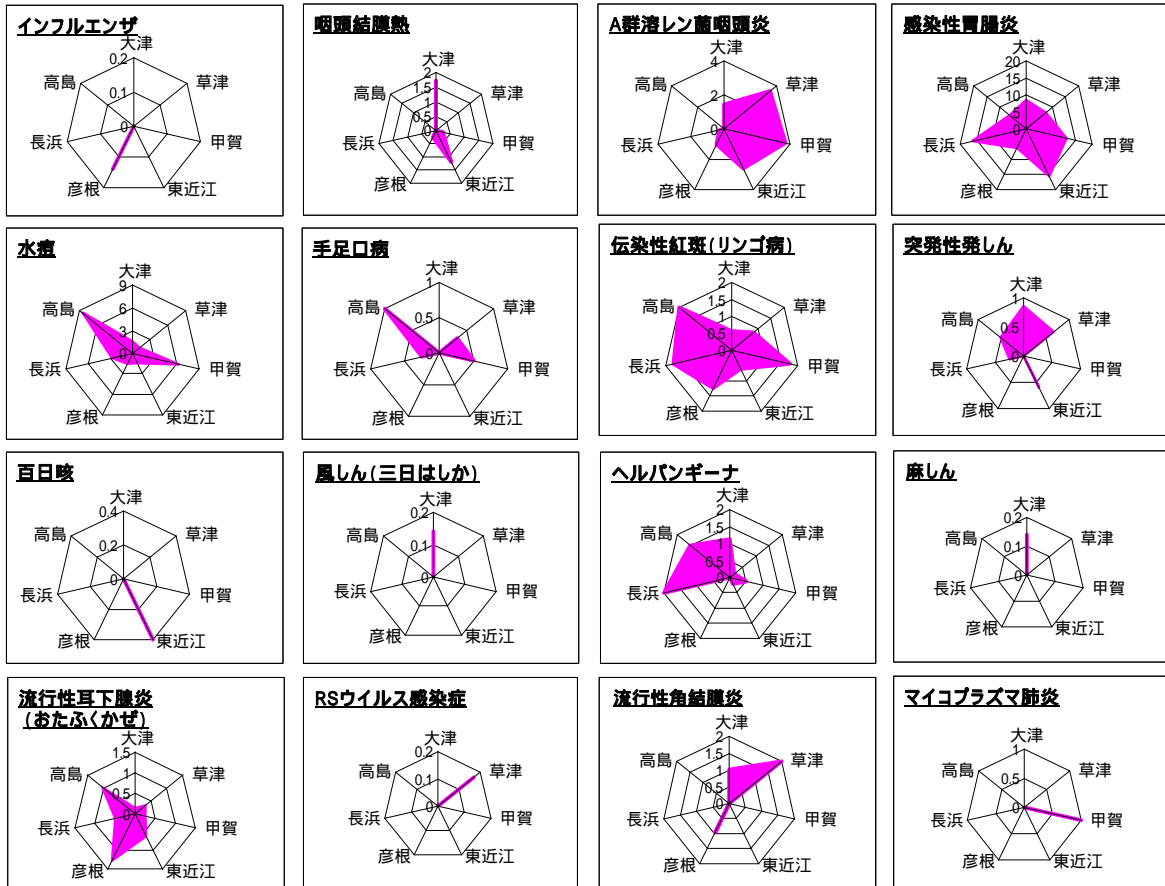
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第23週, 6/4~6/10)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.02	0	0	0	0	0.14	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.63	1.71	0	0.25	1.20	0.25	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	1.43	3.50	3.75	2.60	1.00	0.25	0	
感染性胃腸炎	10.44	8.57	7.50	12.25	15.40	6.25	16.25	6.50	
水痘	2.63	1.57	1.17	6.25	1.40	1.50	2.75	8.50	
手足口病	0.22	0	0.33	0.50	0	0	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.09	0.57	0.83	1.75	0.60	1.25	1.75	2.00	
突発性発しん	0.47	0.86	0.67	0	0.60	0	0.25	0.50	
百日咳	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.72	1.14	0.17	0.50	0.20	0	2.00	1.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.14	0.33	0.25	0.60	1.25	0.50	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	1.00	2.00	0	0	1.00	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12
定点当たり患者数(人)

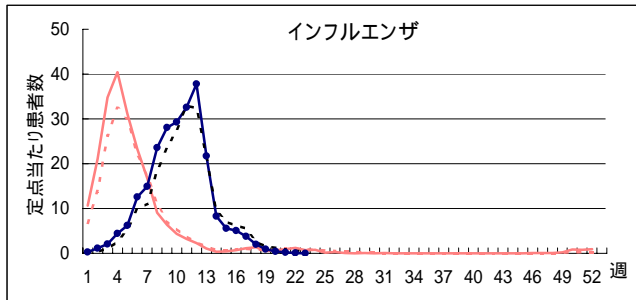
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



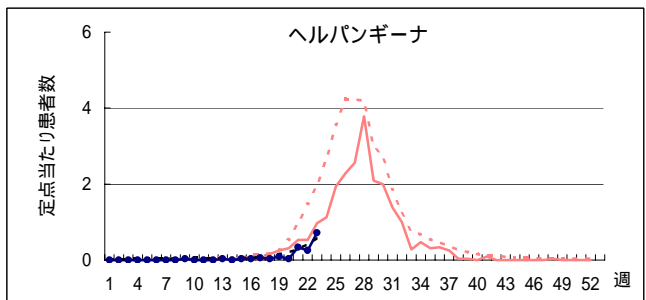
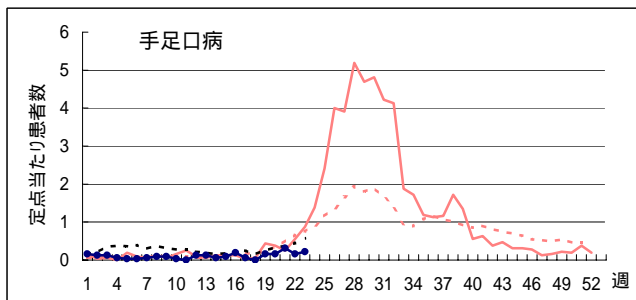
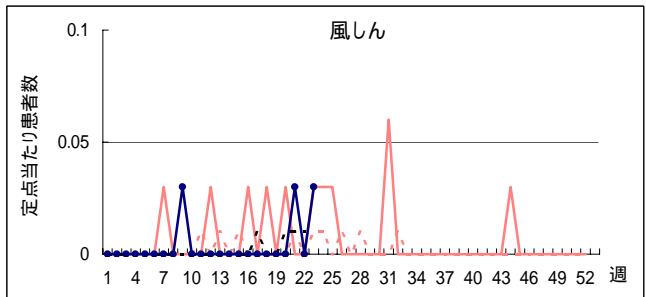
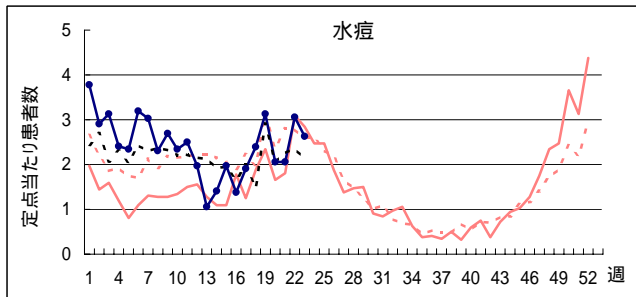
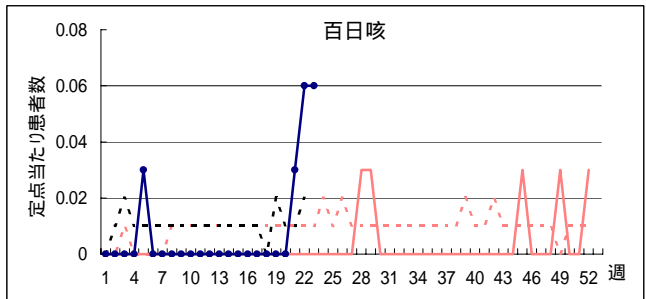
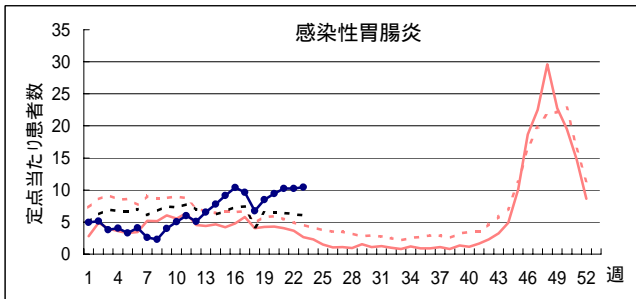
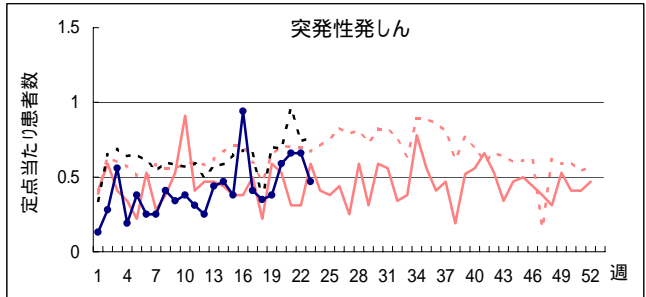
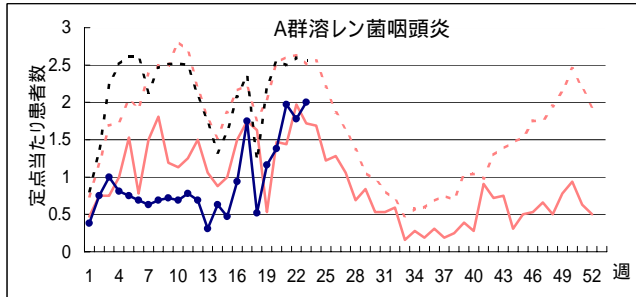
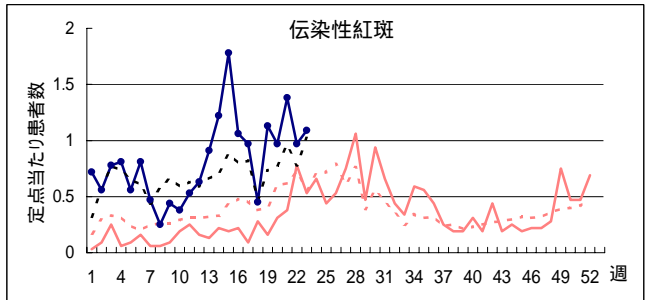
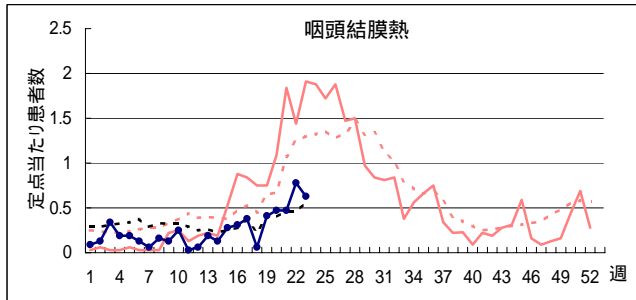
今週の発生状況:

- 感染性胃腸炎-----先週多かった長浜ではやや減少し定点当たり患者数は16.25となっていますが、警報継続基準値(12.00)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。また、甲賀および東近江においても多い状態が続いています。
- 水痘-----県全体では先週より減少していますが、高島で急増し定点当たり患者数は8.50となり、警報開始基準値(7.00)を超えているため警報が発生しています。また、甲賀では先週よりさらに増加し、先週に引き続き注意報が発生しています。
- ヘルパンギーナ-----大部分の保健所から報告されており、県全体では増加傾向となっています。
- 麻しん-----大津から報告され、年齢および性別は11歳の女児です。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第23週、H19.1.1～H19.6.10)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第23週、H19.1.1～H19.6.10)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

